

慶良間列島、阿嘉島で再び 漂着したチレニアイガイ (軟体動物門、二枚貝綱)

久保田 信

京都大学大学院理学研究科附属
瀬戸臨海実験所

Reappearance of *Mytilus edulis galloprovincialis* (Mollusca, Bivalvia) on the shore of Akajima, the Kerama Islands

S. Kubota

阿嘉島に1994年3月と1995年2月に漂着した多数のチレニアイガイ *Mytilus edulis galloprovincialis* Lamarck は、中国の南部沿岸の養殖漁場から浮きについて漂流してきたものと推定した(久保田・林原 1995)。この記録は南西諸島に自然分布しないチレニアイガイのその海域での最初の漂着記録となったが、同様の現象は八重山列島の西表島で1995年2月および1996年2月と3月に見られた(久保田・島袋 1996, 1997)。著者はこのようなチレニアイガイのラフティングによる南西諸島海域への分布拡大に注意を払い続けているが、今回、阿嘉島で再び漂着したチレニアイガイを発見したので報告する。

チレニアイガイの阿嘉島への3度目の漂着記録

採集場所 クシバルの砂浜の潮上帯

付着基質 発泡スチロ-ルの浮き(破損するが最大径241mm)のくぼみ(図1)

採集年月日 1999年8月12日

殻の大きさ 前後軸長(mm): 43*, 37*, 33*, 32, 30*, 23*, ? (*: 両殻が揃った個体; ?: 破損個体)

注記 漂着した浮きの近くに2個体の貝殻(前後軸長46mm, 30mm)が見られた(図1の浮きの脇に示す)。2個体ともその浮きに付着していたものが脱落したものであろう。上記の7個体とあわせて計9個体とも軟体部は消失していた。

Summary

Nine specimens of *Mytilus edulis galloprovincialis* (Mollusca, Bivalvia) were found at Akajima Island, Kerama Islands, Okinawa Prefecture. Seven attached to a buoy (styrofoam)

and two were found near the buoy on the Kushibaru beach. No soft body parts were remained in all of these specimens. This is the fifth record discovery in Okinawa Prefecture.

謝 辞

今回の調査にご協力下さった阿嘉島臨海研究所の下池和幸氏をはじめ所員の皆様方に感謝します。

引用文献

- 久保田信・林原 毅 1995. 慶良間列島、阿嘉島へ漂着した多数のチレニアイガイ(軟体動物門、二枚貝綱). みどりいし, (6): 17-19.
久保田信・島袋ときわ 1996. 八重山列島、西表島で初めて採集されたイガイ属2種(軟体動物、二枚貝綱、イガイ目). 南紀生物, 38(1): 27-28.
久保田信・島袋ときわ 1997. 八重山列島、西表島へ再び漂着したチレニアイガイ. 南紀生物, 39(1): 77-78.

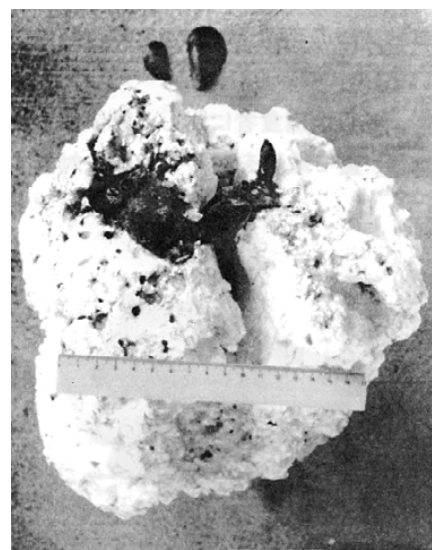


図1. チレニアイガイの付着した浮き(慶良間列島阿嘉島クシバルで採集)

Fig. 1. *Mytilus edulis galloprovincialis* attached to a buoy collected at Kushibaru, Akajima Island, Kerama Islands, Okinawa.